



NAKA ivf medium®

IVF 関連製品

ONESTEP Medium®

ONESTEP® メディウム

メディウム交換を不要にした
日本の培養液です。



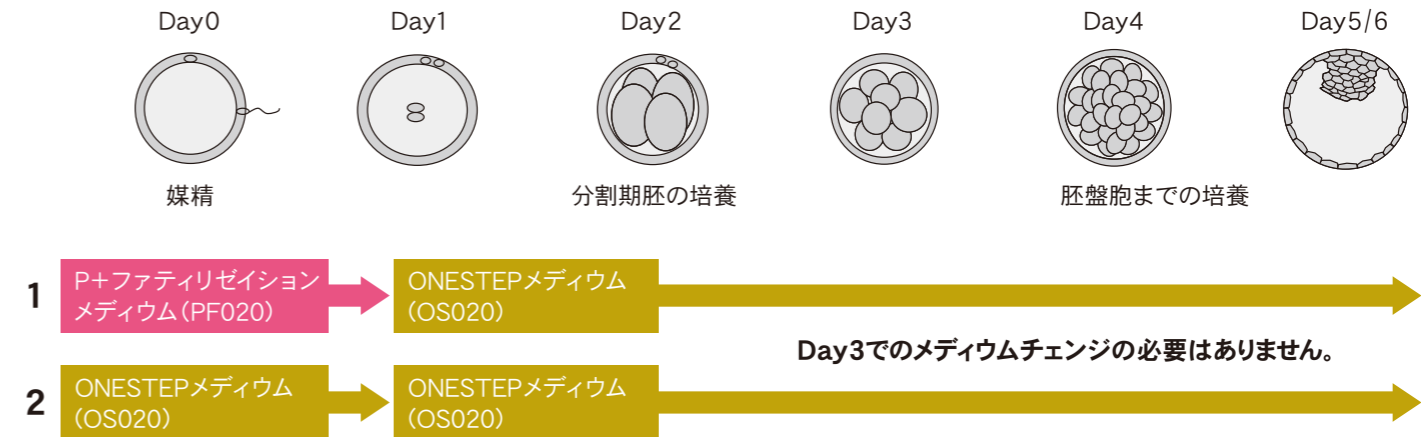
Day1からDay5/6までメEDIUM交換不要、ストレスフリーの胚培養を実現します。



これまでのシーケンシャル メEDIUM使用の胚培養では一般的にDay2もしくはDay3でのメEDIUMチェンジが必要でした。交換作業時は胚をインキュベーターから取り出すため胚は温度やpHなどの環境変化によるストレスを受けていたのです。ナカメディカルのONESTEPメEDIUMは、メEDIUMチェンジが不要。培養環境の変化によるストレスを、大幅に軽減します。

- 5~6% CO₂気相下でご使用ください。
- NPS(代替血清)が添加してありますのでそのままご使用ください。
- ロット毎にpH、浸透圧、エンドトキシン濃度のチェック、無菌試験、マウスエンブリオアッセイを行っております。
- 使用期限(製造後90日)はバイアルラベルの下部に表示してあります。
例: Exp. 2015.07.10 = 使用期限2015年7月10日

カタログ番号	品名	用途	内容	使用期限/保存条件
OS020	ONESTEPメEDIUM	媒精 (Day0~1) 胚の培養 (Day1~5/6)	20ml×2本	製造後90日/ 要冷蔵 (2~8℃)



使用例 1 媒精にはP+ファティリゼーションメEDIUM (PF020)を使用します。受精確認後、前核期から胚盤胞 (Day5/6)までの培養にONESTEPメEDIUM (OS020)を使用します。Day3でのメEDIUMの交換は必要ありません。
※培養の際には胚1個に対し25μl以上の量のONESTEPメEDIUMをご使用ください。

使用例 2 ONESTEPメEDIUM (OS020)を媒精に使用します。受精確認後、前核期から胚盤胞 (Day5/6)までの培養にONESTEPメEDIUM (OS020)を使用します。Day3でのメEDIUMの交換は必要ありません。
※培養の際には胚1個に対し25μl以上の量のONESTEPメEDIUMをご使用ください。

特長 ONESTEPメEDIUM (OS020)にはエネルギー代謝、浸透圧の維持調整及び胚の発育促進のため、従来のHTFメEDIUMに種々のアミノ酸及びパントテン酸、ヒアルロン酸等を加えてあります。また、高品質を長期間維持するために、製造・分注過程で5%CO₂、5%O₂、90%N₂ガスを充填しています。ONESTEPメEDIUMはDay2もしくはDay3でのメEDIUMチェンジが不要です。メEDIUMチェンジの際にインキュベーター外に出された胚が受ける培養環境の変化によるストレスを軽減することができるため、培養結果の向上が期待されます。

至適 pH 胚培養にはpHの管理が非常に重要です。ご使用前に5~6% CO₂の培養環境下で平衡化してください。平衡化の後、メEDIUMのpHを測定し下記の至適pH範囲であることが望まれます。

カタログ番号	培養液	至適 pH
OS020	ONESTEPメEDIUM	7.20~7.40

注意点 使用期限は製造後90日(ラベルに記載)です。ただし、開封後は無菌的に冷蔵保存し(2~8℃)、なるべく早めにご使用ください(2週間以内が望ましい)。バイアルから必要量を採取する時はCO₂ガスの漏出を防ぐために速やかに密封してください。

ONESTEP Medium® × Time-lapse

タイムラプス・モニタリングシステムを使用する胚培養には“ONESTEP®メEDIUM”をご使用ください。最高レベルの培養環境を実現します。

培養環境を変化させることなく、胚の発育過程を観察できるタイムラプス・モニタリングシステムにはメEDIUMチェンジ不要の、ナカメディカル ONESTEPメEDIUMが最適です。



NAKA ivf medium®

日本の培養液だから 日本品質の“水”にこだわりました。

メEDIUMの成分で、いちばん重要なものは何でしょうか。
グルコースでしょうか、それともアミノ酸でしょうか。
メEDIUMは、99%以上が水でできています。
主成分である水の品質は、細胞培養効率に大きく影響するのです。
そこでナカメディカルは、主成分の“水”にこだわりました。

- 1 濾過膜・活性炭濾過・イオン交換・逆浸透膜を用いて
微粒子・イオン・微量金属や有機物を除去。
- 2 培養液の製造前にごく微量含まれる有機化合物を、紫外線照射によって除去。
- 3 最終段階として、限外濾過膜を用いてエンドトキシンを除去。

以上の工程によって、胚培養に最適な超純水を確保しています。
また水の滞留による水質劣化防止のため、定期的に循環を実施し、
つねに最高純度の超純水を採取できる製造システムとしました。
超純水の品質規格は比抵抗 17.5MΩ・cm(25℃)以上、
TOCを15ppb以下に設定し、定期的に一般細菌数検査をはじめ
エンドトキシン検査、細胞培養試験を実施し水質管理をしています。

made in
Japan

日本の胚培養は、日本の“水”から。

※本製品は薬事法の定めるところの医療機器、体外診断薬ではありません。ヒトまたは動物の治療に用いるものではありません。※記載の仕様等は、予告なく変更される場合があります。写真と実際の製品とは若干異なる場合があります。

販売代理店

販売元



株式会社ナカメディカル

〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
Tel.(042)529-9313 Fax.(042)529-9517

<http://www.nakamedical.co.jp>

製造元●株式会社細胞科学研究所

(1502003000)